

広報

ただみ

12
2014 月号
No. 535
平成26年12月10日



▲三代夫婦による渡り初めのようす

祝 町道 小林・九々生線 中の橋新橋開通



高校生が雪まつりで
郷土料理コンテスト……2～3

第44回只見町文化祭……………4～5

第26回ふくしま駅伝・上半期財政状況…6～7

魚沼市と災害時における

相互応援に関する協定を締結 他……8～9

町の話……10～11

今月の表紙

11月26日に小林地区で「中の橋新橋」の開通式が行われました。町道小林・九々生線に架かっていた「中の橋」は地域住民の生活道路として重要な役割を果たしていますが、今回県の河川改修事業に合わせて架け替え工事が行われ、橋の幅も5mから7mへと広がり安全性が大幅に改善されました。開通式後にはこの日を待ちに待った地区住民の皆さんが今後の安全を願い渡り初めをしました。

少子高齢化問題



若い人の
元気が無い!



もっと只見の
情報を発信する!



これからの
只見
を考える

高校生が



空き家が多い



自然を生かした
イベントを実施する!



交通の便が悪い

ふるさと「只見」のために 自分たちが出来る事は何か？

「自分たちの町の為に何かできればいいな」という思いで集まった只見・南会津高校の生徒たちが7月から地域の問題を考え、その問題の解決方法を探る話し合いを重ねてきました。高校生は今まで生まれ育った町に何か貢献したいという強い思いはありましたが、地域課題を自分たちの力で解決することは難しく、ふるさとの為に自分たちには何が出来るのか、何をすればいいのか悩み話し合いを重ねる中で、人間の元気の源「食」を生かした地域貢献ができないかと考えました。そして、地域の食材を使用した郷土料理コンテストを行うことを決めたのです。

これは若者が福島県の復興・再生へと積極的に関わり、社会参加の意識を高め若者中心の復興への取組を支援する県の若者ふるさと再生支援事業の一つで、NPO法人寺子屋方丈舎さん、只見名物「味付けマトンケバブ」を開発した目黒道人さんなどの力を借りて「只見ふるさとの雪まつり」で郷土料理コンテストの審査会を行います。

郷土料理コンテスト



in「只見ふるさとの雪まつり(2月15日)」

●目的

最近では、『B級グルメ』という言葉と共に地方で食べられている料理にスポットが当てられることが増えていますが、只見町、南会津町にもおいしい郷土食があります。この地域で採れる食材を使って老若男女を問わず食べやすい郷土料理の

レシピを考え元気の源である「食」を通じて復興への架け橋になることを目指します。

●審査

1次審査を通過した料理を雪まつり会場の皆さんに食べて頂き投票で賞を決定します。



ぜひ雪まつり
会場にお越し
ください!!

▲コンテスト実行委員の高校生の皆さんと目黒道人さん

第44回

只見町文化祭



～只見線全線復旧復興をめざして～

1



今年で44回目の開催となった只見町の文化祭は、11月2・3日の両日町民体育館と只見振興センターを会場として行いました。

今年「只見線全線復旧復興をめざして」というメインテーマを掲げ、メインコーナーには鉄道風景画家 松本忠さんの絵画の展示のほか、只見線の歴史紹介や鉄道模型作り、今年7月に東京で開催された六角精児さんの只見線トークイベントの映像などが流されました。多くの来場者がメインコーナーの展示物に足を止め、改めて只見線がある風景の美しさや、観光資源としての必要性を感じられているようでした。

メインコーナー以外では、藤ヅルでの小物入れ作りやクリスマスオーナメント作り、折り紙に会津もめんの糸紡ぎなど来場者が楽しめる体験コーナーが充実し、どのコーナーも多くの人で溢れていました。また、高校生の人材育成講座5期生が体験し学んだことの成果発表を行い、屋外での物産即売や文化祭恒例町内の若者による「ふるさと食堂」では様々な料理を食べる



10



11



9



7



8



6



5



- 1 メインコーナーに展示された国鉄時代の只見駅のジオラマ
- 2 鉄道模型が走るジオラマには多くの子ども達が目を奪われていました
- 3 只見線のラッピング列車を記念しての塗り絵を楽しむようす
- 4 会場には今年も小・中学生の書や絵画をはじめたくさんの作品が展示されました
- 5 開館式で行われた只見小学校鼓笛隊の演奏。秋の交通安全パレードは雨の為室内演奏でしたが、この日は天候に恵まれ来場者に鼓笛演奏を披露しました
- 6 町下球場では今年も元プロ野球選手らを講師に招き野球教室が行われました
- 7 ごはんコンテストの表彰式も行われ、アイデア料理を作ってくれた子ども達を表彰
- 8 体験コーナーのひとつプリザーブドフラワー教室のようす
- 9・10 人材育成ダイヤモンドプラン事業第5期生（高校生）の成果発表とヒロロコースター作り全員で記念撮影
- 11 日本の文化「短歌・俳句」の詠み方を教えてもらい取り組むようす

事ができ、来場者は開館から閉館まで1日文化祭を楽しむ事が出来ました。
 今年の文化祭には延べ3,500名の方が訪れ、文化の秋を楽しみました。

総合42位 町の部21位 (5時間53分00秒)

第26回 ふくしま駅伝

若い力で挑んだ16区 95.1キロメートル



▲新しいユニフォームを着て走る選手(写真中央)
今年新調したユニフォーム▶



11月16日に開催された第26回ふくしま駅伝競走大会に今年も只見町駅伝チームが出場しました。

今年には選手16名のうち13名が中高生、また10名の補欠選手も全員が中・高生で高校生は多くの只見高校山村留學生が参加した非常に若い駅伝チームとなりました。

選手らは9月中旬から夜間練習を重ね、今年新調した緑色を基調とし背中にブナリんのイラストが入ったユニフォームを着て大会に臨みましたが、残念ながら昨年よりは若干順位を落とす結果となってしまいました。しかし、この若いチームが今年の経験をいかして来年は昨年以上の好成績を残してくれることを期待します。

選手皆さん、選手をサポートして頂いた皆さん長い間本当にお疲れさまでした。テレビなどで只見町チームを応援して頂いた町民の皆様もありがとうございました。

只見町チーム 個人成績

| 区間 | 氏名 | 所属 | タイム |
|------------|-------|---------|--------|
| 1区(4.0km) | 鈴木 菜美 | 只見中2年 | 14分35秒 |
| 2区(8.2km) | 林 啓介 | 只見高1年 | 31分16秒 |
| 3区(5.8km) | 鈴木 道也 | 只見中3年 | 20分20秒 |
| 4区(7.3km) | 渡部 錬 | 南会津広域消防 | 28分50秒 |
| 5区(6.7km) | 梁取 陸 | 南会津高1年 | 25分00秒 |
| 6区(8.3km) | 矢沢 裕也 | 只見町役場 | 30分38秒 |
| 7区(5.2km) | 鈴木 翔 | 只見中3年 | 18分42秒 |
| 8区(4.1km) | 吉津 遥 | 只見中2年 | 14分43秒 |
| 9区(3.0km) | 山内 花 | 只見中2年 | 12分23秒 |
| 10区(9.3km) | 目黒 大成 | 只見高2年 | 31分34秒 |
| 11区(3.9km) | 鈴木 凜 | 只見中2年 | 16分54秒 |
| 12区(7.0km) | 服部 勇 | 只見高2年 | 25分50秒 |
| 13区(4.8km) | 角田 祐介 | 只見町役場 | 17分34秒 |
| 14区(5.7km) | 梁取 水咲 | 只見中3年 | 20分55秒 |
| 15区(3.4km) | 新國かすみ | 只見中2年 | 14分00秒 |
| 16区(8.4km) | 鈴木 遥大 | 只見中3年 | 29分46秒 |



▲スタート地点での集合写真



町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、平成26年度上半期(4月1日～9月30日)の予算の執行状況をお知らせします。

平成26年度一般会計当初予算は、現年度予算50億1,000万円です。スタートしましたが、4回の補正で56億3,815万2千円になりました。この他に前年度から繰り越した予算が21億4,161万8千円ありますので、総額77億7,977万円となっています。

◆一般会計(歳入)

(単位:円、%)

| 款 | 款名称 | 予算額 | 収入済額 | 収入率 |
|----|-------------|---------------|---------------|--------|
| 1 | 町税 | 931,461,000 | 513,824,815 | 55.16 |
| 2 | 地方譲与税 | 61,000,000 | 16,995,000 | 27.86 |
| 3 | 利子割交付金 | 750,000 | 363,000 | 48.40 |
| 4 | 配当割交付金 | 390,000 | 231,000 | 59.23 |
| 5 | 株式等譲渡所得割交付金 | 1,000 | 0 | 0.00 |
| 6 | 地方消費税交付金 | 53,000,000 | 28,760,000 | 54.26 |
| 7 | 自動車取得税交付金 | 8,300,000 | 2,498,000 | 30.10 |
| 8 | 地方特例交付金 | 598,000 | 598,000 | 100.00 |
| 9 | 地方交付税 | 2,418,116,000 | 1,731,920,000 | 71.62 |
| 10 | 交通安全対策特別交付金 | 1,000,000 | 413,000 | 41.30 |
| 11 | 分担金及び負担金 | 22,359,000 | 8,439,906 | 37.75 |
| 12 | 使用料及び手数料 | 30,363,000 | 15,797,602 | 52.03 |
| 13 | 国庫支出金 | 434,969,000 | 50,701,498 | 11.66 |
| 14 | 県支出金 | 1,454,255,000 | 45,562,420 | 3.13 |
| 15 | 財産収入 | 23,843,000 | 9,850,887 | 41.32 |
| 16 | 寄附金 | 3,002,000 | 1,055,531 | 35.16 |
| 17 | 繰入金 | 1,124,069,000 | 33,000,000 | 2.94 |
| 18 | 繰越金 | 190,522,000 | 190,522,252 | 100.00 |
| 19 | 諸収入 | 90,672,000 | 30,261,986 | 33.38 |
| 20 | 町債 | 931,100,000 | 0 | 0.00 |
| 合計 | | 7,779,770,000 | 2,680,794,897 | 34.46 |

◆一般会計(歳出)

(単位:円、%)

| 款 | 款名称 | 予算額 | 支出済額 | 執行率 |
|----|--------|---------------|---------------|-------|
| 1 | 議会費 | 77,683,000 | 41,250,663 | 53.10 |
| 2 | 総務費 | 1,044,715,000 | 386,855,447 | 37.03 |
| 3 | 民生費 | 1,549,094,000 | 275,583,709 | 17.79 |
| 4 | 衛生費 | 477,021,000 | 140,012,480 | 29.35 |
| 5 | 労働費 | 13,000 | 360 | 2.77 |
| 6 | 農林水産業費 | 613,349,000 | 96,803,100 | 15.78 |
| 7 | 商工費 | 463,215,000 | 157,162,585 | 33.93 |
| 8 | 土木費 | 592,106,000 | 86,241,110 | 14.57 |
| 9 | 消防費 | 658,296,000 | 173,914,125 | 26.42 |
| 10 | 教育費 | 491,466,000 | 197,804,473 | 40.25 |
| 11 | 災害復旧費 | 1,329,018,000 | 245,320,439 | 18.46 |
| 12 | 公債費 | 420,017,000 | 202,040,538 | 48.10 |
| 13 | 予備費 | 63,777,000 | 0 | 0.00 |
| 合計 | | 7,779,770,000 | 2,002,989,029 | 25.75 |

◆特別会計

(単位:円、%)

| 会計名 | 予算額 | 歳入 | | 歳出 | | |
|-----|------------|---------------|-------------|-------|---------------|-------|
| | | 収入済額 | 収入率 | 支出済額 | 執行率 | |
| 1 | 国民健康保険事業 | 502,755,000 | 170,615,182 | 33.94 | 215,325,030 | 42.83 |
| 2 | 国民健康保険施設 | 435,615,000 | 70,971,332 | 16.29 | 177,169,495 | 40.67 |
| 3 | 後期高齢者医療 | 134,000,000 | 14,787,700 | 11.04 | 49,200,453 | 36.72 |
| 4 | 介護保険事業 | 626,465,000 | 270,735,666 | 43.22 | 250,580,615 | 40.00 |
| 5 | 介護老人保健施設 | 252,000,000 | 79,471,833 | 31.54 | 124,360,432 | 49.35 |
| 6 | 訪問看護ステーション | 17,000,000 | 769,790 | 4.53 | 5,280,382 | 31.06 |
| 7 | 地域包括支援センター | 10,000,000 | 984,260 | 9.84 | 4,725,875 | 47.26 |
| 8 | 簡易水道 | 276,898,000 | 29,967,230 | 10.82 | 72,708,773 | 26.26 |
| 9 | 観光施設事業 | 63,050,000 | 0 | 0.00 | 13,985,986 | 22.18 |
| 10 | 交流施設 | 76,000,000 | 0 | 0.00 | 32,327,433 | 42.54 |
| 11 | 集落排水事業 | 323,420,000 | 44,403,860 | 13.73 | 141,561,248 | 43.77 |
| 12 | 朝日財産区 | 11,600,000 | 11,549,875 | 99.57 | 118,250 | 1.02 |
| 合計 | | 2,728,803,000 | 694,256,728 | 25.44 | 1,087,343,972 | 39.85 |

歳入のうち地方交付税を平成25年度と比較してみますと、普通交付税(7月に交付額算定)が22億6,811万6千円となり、前年度対比1億3,153万円の減となっております。特別交付税(平成27年3月に交付額決定)については、例年度並みの交付を見込んでおります。

(※地方交付税は、「普通交付税」と「特別交付税」に分かれています。)

主な事業内容は、自然首都只見地域づくり事業Ⅱ2,189万円、JR只見線全線再開通事

業Ⅰ1,580万円、ユネスコパーク推進事業Ⅱ2,673万円、子宝祝い金事業Ⅱ450万円、小規模介護施設整備事業Ⅱ2億7,347万円、産地生産力強化総合支援事業Ⅱ2,268万円、中山間地域等直接支払事業Ⅱ2,085万円、プレミアム商品券発行事業Ⅰ1,705万円、克雪対策事業Ⅱ2,200万円、学校給食支援事業Ⅱ600

万円、進路応援給付金事業Ⅱ400万円などです。

歳入の収入済額は9月までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。

これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表で

只見町の防災力がさらに強化

魚沼市と災害協定を結びました

11月10日、新潟県魚沼市と「災害時における相互応援に関する協定」を結びました。

この協定により、どちらかの地域で地震や風水害などの大規模な災害が発生した場合、食糧や生活必需品の提供や、救助や復興に必要な資機材の提供などを相互に行うことができるようになります。

魚沼市と観光的な交流は行われてきましたが、今後は防災面でも協力し、お互いが災害に強い自治体を目指します。



▲協定書を交わす目黒町長と大平魚沼市長

地域づくりは人づくり

地域づくり講演会を開催

11月24日、長野県川上村長で全国町村会長でもある藤原忠彦氏を招き、季の郷湯ら里で講演会を開催し、約100名が聴講しました。

藤原氏はレタスなどの高原野菜で全国有数の名産地となった川上村が現在は海外にも野菜を輸出していることや、野菜の作り手の健康のために行っている「ヘルシーパーク構想」などの取組みを紹介されました。また、藤原氏はあきらめずに常に挑戦することが大切と話され聴講者は熱心に聞き入っていました。



▲これまでの川上村の取組みについて話される藤原村長

柏市→只見町産の米 只見町→柏市産ブルーベリー

柏市と給食で食を通じた交流

只見町と柏市の学校給食で今年で3回目となる産品の交換が行われました。11月18日、柏市の柏第8小学校の5年生の給食で只見町のお米が振る舞われ、11月19日、只見町では小・中学校の給食で柏市のブルーベリージャムが振る舞われました。どちらの児童も美味しいと笑顔を見せながら食べていました。

町はこの交流事業をきっかけに、さらに只見産米の品質向上やブランド力アップに取り組んでいきます。



▲只見でも柏市産品を美味しくいただきました



▲只見のご飯をもりもり食べる柏市の児童ら



▲柏市のブルーベリージャムはかぼちゃパンと一緒に!

平成27年度中完成へ 介護老人福祉施設が起工

11月13日、新たに整備される地域密着型介護老人福祉施設の地鎮祭と起工式が建設予定地の長浜地区で行われました。

建設される施設は、少人数グループをひとつの生活単位（ユニット）として区分けが行われるユニット式で、居室は全29床になります。

地域密着型介護老人施設の建設は、施設入居待機者の解消と、雇用の創出が期待されます。



▲工事の安全を願う関係者

日本赤十字社から 2団体に感謝状を贈呈

11月12日、長年にわたり献血の推進に尽力された功績が認められた「電源開発株式会社 東日本支店 田子倉電力所」と、「株式会社 JPH アイテック 東日本カンパニー 田子倉事業所」が日本赤十字社福島支部から感謝状を贈呈されました。

献血は健康な方であればどなたでもできる身近なボランティアです。皆様には献血の必要性を考えていただき、積極的な協力をして頂きますようお願いいたします。



▲今後も引き続きご協力をお願いします

長年の租税教育に対して 朝日小学校に感謝状

11月20日、田島税務署の野口署長が朝日小学校を訪れ、朝日小学校の児童が長年に渡って税に関する作文や絵はがきコンクールなどに作品を応募するなど取り組んできた事に対して、朝日小学校の荒川校長先生へ感謝状と記念品を贈呈しました。

朝日小学校は、引き続き納税の意義や仕組みなど正しい知識を児童がしっかりと身につけるような取組みを行っていかれます。



▲感謝状を手渡す野口署長(左)と荒川校長

地域の皆さんいつもありがとう 明和小学校で感謝の給食会

10月23日、日頃から児童の安全な生活のため活動されている見守り隊の皆さんや明和駐在さん、総合学習や畑作りでお世話になった方々を招いて感謝の給食会を行いました。6年生がお世話になった場面を、画面に映して活動などを振り返りながら皆で楽しく給食を食べました。

また、この給食会には福島県の「いただきます。ふくしまさん」事業を活用し、いわなや野菜などは地元食材が使われました。



▲お世話になっている方と楽しく話しながら給食を食べました



▲巻物を受け取る梁取麻緒さん



▶伝授された巻物

職 親方から弟子へ 人巻物伝達式

11月23日、季の郷湯ら里で梁取板金有限会社の巻物伝達式が行われました。巻物は職人の由来や神事の作法、秘伝、伝授者と授与者などが記されており、親方に弟子入りし技術を習得して一定の年季奉公が終わり一人前になった証として伝授されるものです。

近年では多くの職人巻物がなくなりこのような伝達式が行われる事もほとんど無くなりましたが、梁取板金では今なおこの貴重な伝統が受け継がれています。

只 上位独占 見剣道スポーツ少年団

只見剣道スポーツ少年団が大会で好成績を残しました。結果は次のとおりです。

第48回 南会津郡青少年健全育成柔剣道大会 (11月8日開催)

- 団体戦 小学生低学年の部
優 勝 少年団Aチーム
(菅野慧汰、浅野礼、目黒巧馬)
- 団体戦 小学生高学年の部
優 勝 少年団Bチーム
(目黒拓海、小柴翔天、渡部春輝)
- 準優勝 少年団Cチーム
(馬場菊、馬場遊茶、堀金楓樺)

※団体戦は左から順に(先鋒、中堅、大将)になります。



▲上位を独占した南会津郡青少年健全育成柔剣道大会

第23回 金山町妖精の里剣道大会 (11月9日開催)

- 個人戦 男子高学年の部 (5、6年)
第3位 吉津隼馬・渡部駿
- 個人戦 女子高学年の部 (5、6年)
第1位 馬場遊茶
第2位 馬場 菊
第3位 堀金楓樺
- 団体戦 高学年の部 (5、6年)
第3位 少年団Cチーム
(馬場菊、馬場遊茶、堀金楓樺)

保 育 所 お ゆ う ぎ 会



ももたろう(只見保育所11月20日)



こども白虎隊(朝日保育所11月28日)



かさじぞう(明和保育所11月21日)

「古^{ブナ}センター講座 民家解体から見えてくるもの」11月8日(土)

只見町では空き家が問題になっていますが、富山大学の奥敬一^{ひろかず}氏を講師に迎え、京都丹後半島の民家の特徴と風習、古民家を解体することで明らかとなった建材の樹種について話していただきました。

丹後半島の民家は、空間を広くとり中二階や屋根裏を資材置き場とすることで、冬期に外に出ずに作業ができるよう深雪に対応した工夫がされており、最大の特徴として、ササ^ぶ葺きの屋根で、薪炭林^{しんたんりん}を伐採した後に生えるササや成長した林の林床のササを利用し、ササの刈り取りが薪炭林の管理につながるという合理的な利用方法をとっていました。

古民家の解体は、主に建材の種類に注目し解体され、人の住む部分の材にはマツが多く、次いでクリ、大黒柱など目立つところにはヒノキが使われていることがわかりました。屋根の小屋組みには、クリのほかコシアブラ、シデ、コナラ、マダケ、ホオノキ、サクラ、ネムノキなど様々な樹種が使われており、中には曲がった細い木なども利用されていました。「^{かみ}上世屋(調査地の地名)の民家は里山の若い“雑木林”そのものだった」と奥氏は表現されました。建材の樹種を決めるのは、大工ではなく、木挽き屋であったというのも興味深い話



▲講師を務めた奥先生

です。ほかの地区での調査では、ブナやコナラを使った古民家が発見されたそうです。民家があった土地では、家の建て替えのための用心山としてブナ林を残す風習があったそうで、民家には、建てられた場所の周囲の自然環境が反映されており、只見町の民家はどうかとさらなる興味がわきました。

最後に古民家が人を育てると題して、立命館大学の学生と行ったササ葺きの全面葺き替えの取り組みを紹介していただき、この活動には学生と地域との交流、学生の成長といった効果があったとのことで古民家を題材とした様々な活動の可能性を示されました。

「秋^{猪又}かじ子写真教室 の布沢集落を撮る！」10月26日(日)

柏市在住の写真家 猪又かじ子^{かじこ}さんを講師に迎え、今年も写真教室を開催しました。当日は雲ひとつない秋晴れで紅葉も真っ盛り^{あき}の素晴らしい日和。撮影時間の午前中は布沢集落を歩き、気になるポイントがあると先生のアドバイスのもとみなさん真剣な表情で撮影をされていました。また、集落内をのんびり歩きながら畑仕事の方とおしゃべりも楽しく、モデルになって頂いたり、農作物についての話を聞いたり、楽しい時間を過ごすことができました。午後は森



▲真剣に撮影中!

林の分校ふざわの広間で、撮影してきた写真をプロジェクターで映して先生からの講評を頂きました。同じ風景を撮影していても、光の捉え方や角度などが異なりそれぞれ個性のある写真となり大変興味深いものでした。

参加者の皆さんからは、また別の季節にも来てみたいとの声が聞かれ写真教室と只見の美しい秋を満喫していただけたようでした。



▲分校の前で記念撮影



▲ご家族に囲まれ記念撮影

渡部マサエさん(楢戸) 百歳賀寿おめでとうございます

渡部マサエさんが、11月10日にめでたく満100歳を迎えられ、ご家族の方向席のもと只見ホームで知事賀寿の贈呈式が行われました。賀寿を記念して木杯や祝金が関係者から手渡されたほか、ひ孫からはお祝いの花束が贈られました。

マサエさんの長寿の秘訣は好き嫌いをしないで何でも良く食べ、細かいことは気にしない楽道家であることだそうです。

広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 若山 隆



「エボラ出血熱について」

早いもので、もう師走となりました。何かと忙しいこの時期ですが、無理して体調を崩されないようお気を付けください。

今回はエボラ出血熱についてお話させていただきます。エボラ出血熱は、今年3月から8月までに1,000人を超える感染があり、WHOがエボラ出血熱の流行が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」であると宣言しました。日本でも度々テレビのニュースなどで話題になっていたの、見た方も多いと思います。11月に入っても感染者数15,000人以上、死亡者数5,000人以上と増え続けています。

エボラ出血熱がこんなに大騒ぎになる要因は2つあり、1つは、命をおとす重症な疾患であるからです。医療環境が悪ければ、90%の方が命を落とすという報告があり、先進国でも3割近い方が亡くなるとされています。2つめは、ヒトからヒトに伝染するからです。感染はエボラ出血熱患者の吐物・尿・便・血といった体液に直接接触することによって起こります。空気を介した感染はしません。

エボラウイルスの症状は、普通の風邪と区別が付きません。発熱、倦怠感、頭痛、のどの痛み、嘔吐・下痢などです。重症で末期になれば、目や鼻などからの出血がみられる事もありますが多くはないです。なので、エボラウイルスを疑うきっかけはエボラウイルスの流行している国にいたかどうかです。

エボラウイルスを心配する方もいるかもしれませんが、日本でエボラ出血熱が流行する可能性は極めて低いと

されています。その理由はエボラ出血熱の感染力は高いからです。インフルエンザのように空気を介して感染することはなく、患者の吐物・下痢便・血液に直接接触しなければ感染しません。アメリカではエボラ患者が電車・バスなどの公共機関で移動したそうですが、だれにも感染しませんでした。また、現在、エボラウイルスが流行している主な国は3つ(ギニア・リベリア・シエラレオネ)だけで、いずれの国とも日本との直行便はなく、人の出入りは多くありません。空港などでも出入りは厳しくチェックされ、渡航歴があれば毎日体調を報告するように義務付けられ、異常があれば専門施設で管理されます。

エボラウイルスに関しては、只見で心配することなく安心して生活していて大丈夫です。まずおられないと思いますが、もし図に示す西アフリカの国に行つてこれ、具合がよくないという方がおられたら、保健所か診療所にご相談ください。

西アフリカでのエボラ出血熱の発生が続いています

西アフリカへの渡航歴
はありますか？

**ギニア、リベリア、
シエラレオネに
過去1か月以内に
渡航された方は、
必ずお申し出ください**

皆様のご協力をお願いいたします

只見野鳥雑記 ②

なぜ減った

ツバメとスズメ

◀ツバメやスズメが好んで巣を作った農家住宅



「ツバメもち」という興味深い民俗行事があることを布沢の小林彦衛さんから聞きました。ツバメが渡つてきて初めて巣づくりをはじめた日、もちをついて巣の下に供え、家中でお祝いをしたということ。これをみても、いかにツバメがたいせつにされてきたかがわかります。今でもツバメは吉を呼ぶ鳥とされ、ツバメの巣が集まる家は栄えるといわれていま。ツバメは田んぼの上空を縦横に飛びまわつて害虫を食べる益鳥です。いまのような農薬のない時代、ツバメは農薬代わりの生き物、すなわち生物農薬として重要な野鳥だったわけ。同じく人家に巣をつくるスズメは、実りの秋になると大群で稲の穂を食い荒らす害鳥でした。ですから巣が見つかれば取り壊され、田んぼにはスズメ追

いとしてカカシや爆音機が据えられました。

これほど身近だったツバメとスズメが近ごろ、その数を減らしてきていることにお気づきでしょうか。すこし前まで、春になれば数つがいのツバメが電線でさえずり、家のあたりを乱舞していたものです。厩うまやちゆうもん中門造りの牛小屋の天井には必ずツバメの巣がありました。カヤふき屋根や板壁にいた隙間はスズメのかつこうの巣作り場所でした。どちらも子育ての真っ盛りはうるさいほどにぎやかだったものですが、それがめつきり見られなくなつてきたのです。

その原因は、まず巣作りできる場所が少なくなつたことがあげられます。スズメの巣作り場所だったカヤ屋根や板壁、冬の居場所だったカヤの雪囲いなどはすつかりなくなつてしまいました。ツバメの繁殖場所だった厩うまやもありません。現代の住宅はトタン屋根となり、壁はサイディング張り、そして凹凸の少ない高気密住宅です。清潔で衛生的な現代住宅では、ツバメはやっつかいな鳥にもなつてきま

した。巣の下に泥をまき散らし、ときには巣にダニが発生して屋内まで入り込んでしまうのです。それが嫌われて、巣が落とされてしまうこともあり。さらに都市部では宅地開発によつて農地や荒地がなくなり、ツバメの巣材確保がむずかしくなつています。また、越冬地にわたる前、ツバメが集団でねぐらとする広いアシ原も少なくなつてきました。ツバメが減つてきたのは、住宅難と巣材難、そして農業離れによる保護意識の低下があるように思われます。

一方、スズメの減つた理由は、住宅難のほかに、産卵数が減つてきているという報告があります。三十年ほど前の平均産卵数が六個だったのに、現在の産卵数は四個前後だといふのです。スズメの世界も、人間と同じく少子化の波が押し寄せているといえそうです。どうして産卵数が減つてきているのかはわかつていません。いまではスズメのいない空間に、ハクセキレイが侵入して、わが物顔で家の周辺を歩き回っています。スズメはハクセキレイに生態的な地位を奪われて

しまったといえるかもしれません。

スズメは減つているのに、ニューウナイスズメという野鳥は以前と変わらずに生息しています。これは里山の雑木林に住み、頬に黒斑がないスズメです。鳴き声もチー、チーとスズメより澄んだ声で鳴きます。田子倉ダムサイトや只見町青少年旅行村などでふつうに見られます。また、晩秋のころ、スズメの群れに混じっていることもあります。

わたしたちにとつて身近な野鳥だったツバメとスズメが減つてきているのは、住宅の近代化、生息環境の改変、そしてわたしたちの意識の変化が微妙に関係しているのかもしれない。



▲すっかり数を減らしたスズメ



町民文芸

只見短歌会

十月詠草

大塚栄一

指導

娘にさへも生き来し歩み愚痴らずに気づけば我も米寿間近し

馬場 八智

小倉キミ子

里芋の葉に水銀の玉のごと残れる露を回して眺む

古川 英子

退院せし庭をめぐりて蜻蛉群れ寄りゆくわれの肩に止まるも

新国由紀子

父逝きて一年経てど迎へなきと在宅療養の母はつぶやく

渡部ゆき子

皆既月蝕暗くなり来し空見上げ時計覗きて月の出を待つ

関谷登美子

列車待ち何気なく外を眺めをり芒コスモス風に揺らぐも

目黒 富子

わが留守に幼らかけてみたららし老眼鏡に指跡残る

五十嵐夏美

幾度も足の手術をせし友が夕べの道を歩みあるなり

渡部ヨリ子

調理器具並べて惣菜作りあるわれに声かけ孫は手伝ふ

新国 洋子

冬の間を同居せし友畑あると帰りて日ごと野菜が届く

只見俳句会

十一月例会

目黒十一

指導

神々が餅比べする九日祭

一穂

傾いて又傾いて芋水車

敦子

皆既月食素足に下駄の暖きかな

白犬の影遠くなり草紅葉

吉児

立冬や曳屋ひきやこびる小屋こやに粕かすあぶり

ビリヤード大会制し紅葉鍋

邦男

一日旅夕日を返す木守柿

山間の手押し車の大根引

信

ガイコン引き腰の痛みも忘れおり

老いてなお学ぶ楽しき長き夜

リウコ

柿畑を過ぎ火葬場近づきぬ

眼に見える大根育つ速きかな

味噌倉の味噌の匂いにそぞろ寒

滑り台手すりのヒビに台風来

洋子

大根のさもぐったりと干されおり

足跡をつけまいと思ふ雪野かな

恒夫

冬の虹会津盆地を釣るがごと

立ち尽す高倉健の冬帽子

礼

心地よき日差や笊の菊の花

黄菊摘むころの隙間すきま隙間へと

順子

萩原や朝の湯気立つレストラン

瞬きをして遠ざかるいぼむしり

修一

朝霧あさぎりのベールを脱ぎし紅葉谷

朝陽差す露天の風呂に紅葉かな

今月のお知らせ

電話番号

| | | | |
|------------|-------|-------|-----------|
| 総合政策課 | 地域振興係 | 財政係 | ☎ 82-5220 |
| 総務課 | 総務係 | | ☎ 82-5210 |
| 職員係 | | | ☎ 82-5050 |
| 町民生活課 | 税務係 | | ☎ 82-5110 |
| 税務係 | 町民係 | | ☎ 82-5100 |
| 保健福祉課 | 保健係 | | ☎ 84-7005 |
| 福祉係 | | | ☎ 84-7010 |
| 農林振興課 | 農政係 | 林政係 | ☎ 82-5230 |
| 農政係 | 観光工商課 | 観光工商係 | ☎ 82-5240 |
| 環境整備課 | 地域整備係 | | ☎ 82-5270 |
| 生活環境係 | | | ☎ 82-5280 |
| 会計室 | | | ☎ 82-5120 |
| 議会事務局 | | | ☎ 82-5300 |
| 農業委員会 | | | ☎ 82-5230 |
| 教育委員会 | | | ☎ 82-5320 |
| 学校給食センター | | | ☎ 84-7180 |
| 只見保育所 | | | ☎ 82-2219 |
| 朝日保育所 | | | ☎ 84-2038 |
| 明和保育所 | | | ☎ 86-2249 |
| 朝日診療所 | | | ☎ 84-2221 |
| (歯科) | | | ☎ 84-2612 |
| 訪問看護ステーション | | | ☎ 84-2130 |
| こぶし苑 | | | ☎ 84-2101 |
| 只見振興センター | | | ☎ 82-2141 |
| 朝日振興センター | | | ☎ 84-2111 |
| 明和振興センター | | | ☎ 86-2111 |

税 今月の納期

12月25日までに納めましょう

- 国民健康保険税(6期)
- 後期高齢者医療保険料(5期)
- 介護保険料(6期)
- 水道使用料(3期)
- 農集排使用料(12月分)

募集

平成27年度
只見町奨学生の募集について

優秀な人材を育成するため、無利子で奨学資金をお貸しします。希望者は、次の事項に留意され、お申し込みください。

●対象及び条件

▽平成27年度に高等学校・短期大学・大学又は各種学校に進学を希望される方で、品行が正しく、学術に優れ、身体強健であること。

▽貸与を希望される方の、本籍又は住所が只見町に引き続き6カ月以上有すること。

▽経済的理由により、就業が困難と認められること。

●利用可能貸与額

▽高等学校 月額1万2千円以内

▽私立大学 月額4万円以内
▽国公立大学・短期大学及び各種学校 月額3万円以内

▽支度金(4年制大学に限る) 大学入学時 30万円以内

●奨学資金の返還

奨学生は、卒業又は退学、奨学金辞退等の月より6カ月の返還準備期間をおき、7カ月目から8年以内に月賦で返還していただきます。

●募集要項の設置場所

教育委員会、朝日・明和振興センター、只見中学校、只見高校、南会津高校、町内の郵便局、東邦銀行只見支店、J A会津みなみ只見支店に設置してあります。

●募集期限

平成27年2月16日(月)まで

●奨学生の採用決定

審査決定後、本人に通知します。通知は3月中旬頃になります。

▼問い合わせ

農業者をめざす奨学生を募集します

将来町で農業に従事するため農業後継者育成を目的とする学校に在学する方に、その修学に必要な資金の一部を貸与します。希望者は、お問い合わせください。

●対象者

福島県農業総合センター農業短期大学校、公益財団法人農民教育協会鯉淵学園農業栄養専門学校に在学している者。

※進学予定者も受け付けます。

※国または他の団体から同種の奨学資金の貸与などを受けていないことが条件となります。

●貸与額 月額 10万円以内

●奨学資金の返還及び免除規定

学校を退学した場合や卒業後に農業に従事しない場合は返還義務が生じます。ただし、卒業後

直ちに町内において農業に従事し、その後10年以上農業に従事した場合は返還が免除されます。

●応募方法

奨学資金貸与申請書及び奨学生願書に、住民票、履歴書、健康診断書並びに申請者が在学する学校長が発行した入学以後の学業成績表、学業・人物に対する所見を記載した推薦書を添付し、農林振興課に提出してください。

※申請用紙を希望される方は農林振興課農政係までご連絡ください。

●募集期限

平成27年2月16日(月)必着

▼問い合わせ

農林振興課農政係
☎ 0241-82-5230

放送大学

4月生を募集します

放送大学では平成27年度第1学期(4月入学)の学生を募集します。

です。

放送大学はテレビ等の放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

出願期間は3月20日まで

資料は無料で差し上げています。

お気軽に放送大学福島学習センター(☎0241-92117471)までご請求下さい。放送大学ホームページでも受け付けております。

町職員の新規採用

(11月1日付)

農林振興課農政係

主事 河原田 友成

町長の手帳

町長スケジュール〈11月分〉

- 1日 会津フェスタ2014(名古屋市)
- 2日 只見町文化祭開館式
- 4日 辞令交付式、エコパーク担当者会
- 5日 日赤白河と日赤只見の交流会、奥会津5町村活性化協議会役員会、只見川電源流域振興協議会総会・懇親会(昭和村)
- 6日 エコパーク関連事業「只見を歩こう」、ふくしま駅伝結団式
- 8日 第22回只見新そばまつり
- 9日 第19回文化協会芸能発表会
- 10日 しあわせ金婚夫婦表彰式、魚沼市との防災協定締結(魚沼市)
- 13日 只見ホーム地鎮祭並びに起工式、南会津観光商談会
- 17日 奥会津アドベンチャー抽選会
- 18日 観光まちづくり協会理事会、高齢者お楽しみ昼食会、庁議、実施計画町長ヒアリング
- 19日 只見町議会11月会議
- 20日 山村振興連盟通常総会、国保制度改善強化全国大会(東京都)
- 24日 地域づくり講演会
- 25日 福島県巡回アカデミー、町村会役員会、県知事との意見交換会並びに懇談会(福島市)
- 26日 町道橋 中の橋開通式
- 27日 只見振興センター建設検討委員会
- 28日 区長連絡協議会懇親会
- 30日 ふるさと只見会・懇親会(東京都)

「只見を応援してくれる方々」

鉄道が好きで、ローカル線を中心に鉄道風景を描く画家の松本忠さんは、切符購入を通じて災害で被災した鉄道とローカル線の応援をしています。それは、乗る時間が無い時の切符購入による売り上げ支援です。

10月中旬、只見町と金山町で只見線応援展を開催し、その売り上げ金で不通区間の只見一會津川口駅間の切符を購入。只見線風景の絵ハガキと一緒に只見・金山町の小学生全員にプレゼントされました。只見線のある風景が好きで、只見線への感謝と復旧への願いを込め描かれる彼の絵は本当やさしく暖かいもので彼の人となり風貌そのものを表わしています。

彼は「只見線には誰にでも扉を開くやさしさがある、乗る人が少ない雪降る日にも歩みを止めない強さがある」と話します。私達はどうしても生活路線や観光資源としての只見線を考えますが、彼は鉄道・ローカル線のなかに人として失いたくないやさしさと強く生きていく上で大切なものを見つめています。彼の善意と思いに感謝し、只見線復旧を求める原点としていきたいと思ひます。

また、11月末に恒例の東京只見会に参加させていただきました。今回はユネスコエコパーク認定証を、日本ユネスコ主催で横浜国立大学長の鈴木邦雄氏から授与され、その後エコパークの講演会となりました。只見会の皆さまは、若い女子職員が堂々と説明したことに感心された様子で、最後まで興味深く話を聞かれ、観光宣伝などとは違った町の取り組み紹介を大変喜んでおられました。

東京只見会も若い世代への広がりをつくられており、我々も只見会の次の世代・孫の世代に対しても只見町が遠いふるさとにならないように努めていきたいと思ひます。

只見町長 目黒 吉久



つのだ ひさき
角田 陽咲さん(布沢)



すさき まなと
鈴木 真斗くん(只見)



わたなべ とわ
渡部 永遠くん(只見)

虫歯の
ない子



(11月18日)
3歳児健診

町民の消息

(11月1日～11月30日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

五十嵐 心 愛 (女/大智・昭子) 熊倉

■ご結婚おめでとうございます

叶津 三瓶 友洋♡小林 美佳 新潟県
黒谷 馬場 純♡須佐 春美 八木沢
叶津 吉田 貞則♡近藤りい子 只見

■おくやみ申し上げます

| | | |
|---------|-----|----|
| 馬場 守雄 | 87歳 | 大倉 |
| 飯塚 幸平 | 81歳 | 大倉 |
| 目黒 テル | 92歳 | 黒沢 |
| 山井 カツセ | 87歳 | 只見 |
| 皆川 盛美 | 78歳 | 只見 |
| 佐藤 庄右工門 | 81歳 | 叶津 |
| 渡部 悌二郎 | 85歳 | 小川 |
| 佐藤 文昌 | 87歳 | 黒谷 |

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成26年11月1日現在

人口 4,547 (－8)
男 2,210 (－6)
女 2,337 (－2)
世帯数 1,797 (－3)
高齢化率 43.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 5 転出 6 出生 0 死亡 7

あとがき

▽今年もう師走。「早い」のひとつとて本当に1年が短く感じます。役場に入つて最初の1年目はとても長く感じたのですが、毎年確実に時間の感覚が短くなっているように感じます。▽12月～1月は世間一般的に忙しい時期のひとつですが、広報担当者にとつても忙しい時期です。それは、年末年始があるので次の号を発行するまでの期間がとても短いからです。私も12月号の作成と同時に進行で1月号の構想を練っています。いつもの2倍頭を使っているのが疲れますが、1月号が無事に発行出来るようまた、良いお正月を迎えられるようこれから気合を入れて頑張りたいと思います。

(吉津)

町民章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

只見振興センター
三瓶 美由紀

只見振興センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★映画「STAND BY ME ドラえもん」
VISUAL STORY未来の国からはるばると



原作/藤子F不二雄プロ
脚本/山崎貴 (小学館)

この夏公開のドラえもん史上初の3DCG作品である映画『STAND BY ME ドラえもん』が、名場面・名台詞を集約して大人向けの絵本になりました!

映画を観た人も観られなかった人も、本書で何度でも“ドラ泣き”してください!!

★ちよつとだけ



瀧村有子/作
鈴木永子/絵 (福音館書店)

赤ちゃんが生まれて、お母さんは忙しいので、なっちゃんはいろんなことを自分ひとりでやってみます。お姉さんになったからと頑張るなっちゃんですが、眠くなった時だけは、どうしてもお母さんに甘えたくります。「“ちよつとだけ”でいいからだっこして」とお母さんをお願いしてみると、お母さんにはなっちゃんの大切な願いがちゃんとわかりました。

「お姉さんになったことで感じる切なさ、それを乗り越えることで成長していく子どもの姿を、母親の深い愛情とともに描いている絵本です。

★紙の月



角田光代/著 (ハルキ文庫)

ただ好きで、ただ会いたかった——わかば銀行の支店から1億円が横領された。容疑者は、梅澤梨花41歳。25歳で結婚し専業主婦になったが、子どもには恵まれず、銀行でパート勤めを始めた。真面目な働きぶりで契約社員になった梨花。そんなある日、顧客の孫である大学生の光太に出会うのだった……。

あまりにもスリリングで、狂おしいまでに切実な、傑作長篇小説。各紙誌でも大絶賛された、第25回柴田錬三郎賞受賞作、待望の文庫化。

★その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受け付けていますので、ぜひご利用ください。

カワガラス (学名: *Cinclus pallasii*)

[スズメ目 カワガラス科]



(左)カワガラスの特徴的な姿勢 (右上)水中を泳ぐ (右下)頑丈な足で逆さに石にとまる

柴倉橋を渡っていると下の方から「ビツ ビツ」という鋭い音が聞こえてきます。下をのぞくと黒い小さな影が水面上を弾丸のように飛んで行きます。水面から突き出た石の上にとまると翼をパッと開閉すると同時に尾を落としながら、ちょこちょこと歩きまわっています。水面を見つめたかと思うと、不意に水の中に潜っていきました。少しして水から出てくると目のあたりが一瞬白くなります。瞬きをしているのです。

この鳥は、カワガラスといいます。カラスという名前がついていますが、ハシブトガラスやハシボソガラスといったいわゆるカラスの仲間ではありません。全長22cmとムクドリより少し大きく、オスもメスも同じく全身こげ茶色で、まぶたが白い色をしています。カワガラスは、北海道から屋久島まで留鳥として見られます。河川の中流や上流に生息しており、トビケラやカゲロウといった水生昆虫を主に食べています。潜水や川底を歩くなど、水中で巧みに水生動物を捕まえ

ます。なわばりを持つことが知られていますが、一方で、離れたいくつかの場所に行動圏を持つ個体もいるそうです。繁殖期は冬で、2月から6月にかけて産卵します。滝の裏の岩の間や堰堤の水抜き穴にコケを材料とした球形の巣を作ります。

只見町では、「カースズメ」や「カードリ」と呼ばれていたそうです。只見川や伊南川、その支流の小川、小さな沢でも見ることができます。水害の影響で一時ずいぶん減ったといわれていますが、今年は少し見ることができるようになりました。地鳴きは「ビツ ビツ」という濁った鋭い声ですが、さえずりは「チ チ チュビチュビユユ」といった複雑な歌で鳴きます。10月頃から不鮮明なさえずりを聞くようになります。カワガラスの繁殖はこれからが本番。コケを集めている姿を見つけたら、近くで巣作りしているサインです。

企画展示

「只見の天然資源とその利用」

期間: 10月25日(土)~12月28日(日)

好評につき開催期間を延長します。

詳しくは、
只見町プラセンター
までお問い合わせ
ください

12月29日~1月3日は年末年始の休館となりますが、只見町プラセンターは冬期も開館しています。

問い合わせ先: 只見町プラセンター 電話0241-72-8355